

公表

事業所における自己評価総括表

放課後等デイサービス

○事業所名	こども発達未来スタジオIppo 三日月教室		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R8年 2月 1日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等+F11F11:F16
1	個別支援・日々の活動がこども中心で行われている 活動プログラムの工夫・柔軟性	個別支援会議やモニタリングで児童一人ひとりの特性・得意・ 苦手を反映し支援目標を設定 個別・集団活動を組み合わせ、自己選択や「いいね！」ポイント などを取り入れ児童の主体性を尊重	児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援をさらに 充実させるため、職員間での情報共有や支援会議を継続し、 個別支援計画に基づいた統一した支援を行っていく。
2	安全・安心への配慮が徹底されている	マニュアル整備、避難訓練、ヒヤリハット共有、事故時連絡体 制を確立	安全管理の取組を継続し、避難訓練やヒヤリハットの共有、 マニュアルの確認などを通して職員の安全意識を高め、子 どもが安心して過ごせる環境づくりを継続していく。
3	保護者との連携・情報共有が充実 職員間でのチーム運営・業務改善	連絡帳・面談・SNS等で日々の状況や支援内容を分かりやすく 伝え、保護者の理解と参加を促す 朝礼・終礼・定期ミーティングで支援内容や役割を共有、 PDCAサイクルにより業務改善を実施	保護者との連携をより深めるため、面談や連絡帳、送迎時の やり取りだけでなく、お便りやSNS等を活用し、日々の活動 や支援の意図について分かりやすく発信していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流・外部機関との連携が限定的	放課後児童クラブや児童館との交流機会が少なく、協議会参加 や地域行事への参加も限定的	地域との交流や外部機関との連携については、保護者や子ど もの状況を踏まえながら、地域行事や関係機関との情報交換 の機会を少しずつ増やし、地域の中でのつながりづくりを進 めていく。
2	家族支援プログラム・研修の機会が不十分	ペアレント・トレーニング等の提供やきょうだい支援にまだ改 善の余地がある	家族支援の充実に向けて、保護者同士の交流の機会や子育て に関する情報提供、研修等の案内を行い、保護者が安心して 相談できる環境づくりを進めていく。
3	第三者評価・外部評価が未実施	外部からの評価機会がなく、評価結果を業務改善に活かす仕組 みの整備が今後の課題	外部研修や関係機関からの助言、自己評価結果や保護者アン ケート等の意見を参考にしながら、客観的な視点を取り入れ た事業所運営に努めていく